前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏(法人	にあっては名称)				,	住 (法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 700-8504				
名 株式	式会社両備システムズ					所 岡山市南区豊成2-7-16				
本票作成都署名:総務部										
主たる業	:種 分コー	類 39 業	種名:情報	サービス	業					
								シングサー b 報サービスを		、民需系
県内の主な	番号	<b>子号</b> 工場等の名称				所 在 地				
	1	IDC第2セン	ター			非公	非公開:別シートに理由説明			
	2	② 岡山本社				岡山市南区豊成2-7-16				
	3	藤崎事業所					岡山市中区藤崎564-5 両備藤崎センター第3棟			
工場等	4	IDC事務棟			非公開:別シートに理由			ートに理由記	兑明	
特定事業者 ☑ ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 □ ②バス・トラック100台、タクシ-250台以上 □ ③C0₂換算3,000t以上 の該当要件 (●工場等の数 8 所 ●車両台数(②該当の場合) 台)										
温室効果ガ	ス基連	<b>準年度(平成</b>	29 年度)	( 4	令和 2	)年/	度排出量	目標年度(	<del></del> 令和  4	1 年度)
排出量		4,	778 t CO <sub>2</sub>			5, 01	1 t CO <sub>2</sub>		6, 098	t CO <sub>2</sub>
	番	番号 工場等の名称				(令和 2 )年度排出量				
	`	① IDC第2センター				2, 408 t CO <sub>2</sub>				
主な工場	松	② 岡山本社				1,415 t CO <sub>2</sub>				
が非出量	. (	③   膝崎事業所				849 t CO <sub>2</sub>				
	(4	④ IDC事務棟				58 t CO <sub>2</sub>				
	<u> </u>									t CO <sub>2</sub>
										t CO <sub>2</sub>
削減目標達成状況		画期間:	平成	30 年度	· ,	~	令和 4	年度	( 5	箇年度)
		□ 総排出量	基準 (	2 ) 至	<b>F度削減</b>	実績	目標削	減率	目標達	成
		☑ 原単位基	準	1.0	)	%	0.6	6 % 🗸 i	<b></b>	□未達
(原単位基 の削減目標 選択してい 場合に記入	を 占めるため、データセンターのPUE値を目標と 100 99.0 99.4				9. 4					
(該当事業										,
ベンチマー	- 77	対象重業の名	2.称	ベンチ・	マーカ指	趰	関浦粉	信(今和 9	年度)	法战家垒

## 【削減状況の自己評価】

指標の状況

データセンターの機器実装は順調に増加したが、設置エリア枯渇に伴い第2棟を建築した関係で削減 目標は悪化した。著しい悪化を避けるため、フロア実装を細分化し、本年は実装可能エリアの1/8の みの実装とすることで目標値の悪化を最小限にとどめ、一時的に基準年度の目標値よりも悪化する予 想を回避できた。

本年以降もフロア増床や設備導入の際は、タイミングや新技術の投入について対策が必要である。

<b>7</b> ↓	11.	`A	- 1-	┺.	H-rI	1
Ιŧ	ж	тĦ	F. 1.	ΛL.	制	

- ・省エネ法に基づくエネルギー管理統括者を中心としたエネルギー管理体制を整備 ・ISO14001(2007年取得)に基づき、IMS管理責任者をトップとした環境管理体制のもと、環境改善を 推進

「日煙削減変達式のために宝施」を世界及び今後の取組し

【目標削減率達成のために実施	<u> </u>
工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
IDC第2センター 岡山本社 他	(令和2年度実施分) ・AI空調制御システムの効果について、空調機の動作状況、使用電力の改善状況を定期的に監視した。 ・第2棟建築にあたり第1棟同様にAI空調制御システムを導入、またIT機器の実装が少量となる初期に空調効率が下がらない様、サーバールームの大きさを段階的に拡大できる設計とし省スペースで、また空調機も少数で実装した。 ・サーバールームの照明を100%LED化した。 (今後実施予定分) ・未実装エリアの拡張について、必要量を吟味し計画する必要がある。 (令和2年度実施分) 社内節電ガイドラインに従い以下の取り組みを実施・クールビズ、ウォームビズ (適切なエアコン温度の設定)
	・長時間離席時のPC電源0FF ・休憩時間、時間外勤務、休日出勤時の部分照明、部分空調 ・フレックスタイム勤務の活用、ノー残業デーの徹底 ・LEDランプ灯具への交換 ・サテライトオフィスの活用 ・空調機(本体及び室外機)の更新 (今後実施予定分) ・熱交換換気システム導入

【森林保全等吸収源対策への取組】					
県内で の取組	無				
その他	無				
【再生可	能エネ	ジルギーの導入】			
県内で の取組	無				
その他	無				
【その他特記事項】					